

令和6年度
事業報告書
決 算 書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

令和6年度事業報告

会員数 令和6年4月 1日現在 法人会員69 個人会員48 賛助会員6 計123
令和7年3月31日現在 法人会員67 個人会員43 賛助会員4 計114

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

(1) 全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。

本年度も全国より多数の応募、推薦があり、本県は5社5件を推薦し下記の賞を受賞した。

令和6年度全国発明表彰式

日 時 令和6年7月11日（木）10時10分～10時55分

会 場 The Okura Tokyo プレステージタワー1階「平安の間Ⅱ」東京都港区虎ノ門2-10-4

令和6年度全国発明表彰受賞者一覧

受 賞 名	応募発明・意匠の名称	会 社 名
経済産業大臣賞	半導体パッケージの高密度化を実現する絶縁膜用組成物の発明	旭化成株式会社
発明賞	磁束の有効利用でレアアース量を削減したモータの発明	三菱電機株式会社

(2) 関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は175件461名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり16件49名を推薦した。

表彰式は、本県からは静岡県知事賞及び静岡県発明協会会長賞を含む受賞者14名が出席し開催された。

令和6年度関東地方発明表彰式

日 時 令和6年11月15日（金）

会 場 ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市中央区万代5-11-20）

令和6年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受 賞 名	発 明 の 名 称	受賞者名	特許・登録番号	会 社 名
静岡県知事賞	暖房除霜同時運転を実現する空調システム	福井 孝史	第 7186845 号	三菱電機株式会社
		田中 航祐		三菱電機株式会社
		渡辺 和也		三菱電機株式会社
静岡県 発明協会会長賞	室外機用プロペラファン	河野 惇司	第 6377172 号	三菱電機株式会社
		中島 誠治		MEU-GER (Ratingen) /R&D
		山本 勝幸		三菱電機株式会社
		池田 尚史		三菱電機株式会社
静岡県 発明協会会長賞	LED 1 灯式ハイ・ロー機能統合型ヘッドランプ	達川 正士	第 5912539 号	元 株式会社小糸製作所

発明奨励賞	電動圧縮機の小型高効率・低騒音化技術	太田 裕樹	第 6420488 号	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		菊地 聡		日立グローバルライフソリューションズ株式会社
		柴田 明和		日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
発明奨励賞	示差走査熱量計の高感度熱物性検出技術	西村 晋哉	第 5642525 号	株式会社日立ハイテクサイエンス
		山田健太郎		
発明奨励賞	空気調和機の据え付け壁面温度検知技術	田辺 薦正	第 6188652 号	三菱電機株式会社
		関 辰夫		三菱電機株式会社
		中川 英知		三菱電機株式会社
		手塚 元志		三菱電機株式会社
発明奨励賞	省エネルギーと省資源に貢献する圧縮機	井柳 友宏	第 5991958 号	三菱電機株式会社
		前山 英明		三菱電機株式会社
		服部 直隆		三菱電機エンジニアリング株式会社
発明奨励賞	燃料電池自動車用中空糸膜モジュール	三橋 知貴	第 6252281 号	NOK 株式会社
発明奨励賞	三次元測定用治具	草谷 一斗	第 7121073 号	本田技研工業株式会社
		疋田 健晴		本田技研工業株式会社
		岩永 雄二		本田技研工業株式会社
		清水 将光		本田技研工業株式会社
発明奨励賞	センター軸加工装置	稲森 一成	第 7241109 号	本田技研工業株式会社
		濱松 真也		本田技研工業株式会社
発明奨励賞	自動車用電動格納式ドアミラー	本宮 正宏	第 6604733 号	株式会社村上開明堂
		市川 憲治		5005 nail saloon
		宮崎 隆之		株式会社村上開明堂
		遠山 瑞貴		株式会社村上開明堂
発明奨励賞	永久磁石埋込型電動機	増子 智希	第 7258140 号	三菱電機株式会社
		松岡 篤		三菱電機株式会社
発明奨励賞	インバータ台数削減を実現した冷凍空調装置	畠山 和徳	第 7105961 号	三菱電機株式会社
		清水 裕一		三菱電機株式会社
		植村 啓介		三菱電機株式会社

発明奨励賞	寒冷地向けエアコンの冷媒回路の切換制御	田代 雄亮	第 7069420 号	三菱電機株式会社
		早丸 靖英		三菱電機株式会社
		佐藤 雅一		三菱電機株式会社
		近藤 雅一		三菱電機株式会社
		川島 惇		三菱電機株式会社
発明奨励賞	マルチ空調システムの個別除霜制御	三浦 賢	第 7210756 号	日本キャリア株式会社
		濱島 哲磨		日本キャリア株式会社
		清水 克浩		日本キャリア株式会社
発明奨励賞	大容量圧縮機における板状端子の適切配置	志田 勝吾	第 7405946 号	日本キャリア株式会社
		戸田 隼		日本キャリア株式会社
		川島裕瑞希		日本キャリア株式会社

(3) 静岡県科学技術振興表彰

科学技術の普及啓発や科学技術水準の向上を目的に、県内産業界の科学技術の発展や社会生活の向上に貢献された方々を表彰するものである。「優秀発明考案者」「研究開発功労者」「産業技術振興功績者」の3分野を対象に、本年度は計12人を静岡県が表彰した。

当協会からは次表のとおり1件2名を推薦し、表彰された。

受賞者名	区 分	種 類	業 績 名
松本 泰治	優秀発明考案者	知事褒賞	マイクロマニピュレータ並びにマイクロマニピュレータによる観察・操作方法
浜野 光太			

令和6年度静岡県科学技術振興表彰式

日 時 令和6年11月7日（木）

会 場 静岡県庁別館

2. 青少年の創造性開発及び育成

(1) 学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団及び各報道機関の後援により、「第72回静岡県学生児童発明くふう展」と「第47回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

会 期 令和6年11月30日（土）（展示及び表彰式）

会 場 静岡県産業経済会館1階ロビー（展示会場）

静岡県産業経済会館3階大会議室（表彰式）（入場者延べ253人）

①第72回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	37点	14点
中学生	15点	11点
合 計	52点	25点

上記県展で入選した作品から、小学生9点、中学生9点を第83回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
入選	「開けたらそのまま」を防ぐ！ 自動で閉まるペットらくらくドア	浜松市立和田小学校	2年	船曳 大地
			5年	船曳 さくら
入選	時間短縮計量カップ	富士市立丘小学校	4年	渡邊 桜咲
入選	光ってお知らせ 落とし物0へ！	浜松市立富塚中学校	2年	宇津山陽菜

②第47回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	15点	11点
中学生	68点	13点
合 計	83点	24点

上記県展で入選した24点を第47回未来の科学の夢絵画展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
奨励賞	世界初！絶滅生物よみがえりマシン	湖西市立岡崎小学校	4年	南野 桔平
奨励賞	動物翻訳コンタクト	浜松市立富塚中学校	3年	疋田 優利
奨励賞	タイル型発電機	浜松市立開成中学校	3年	吉村 心夏

③後 援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援した。

- 1) 第59回富士市発明くふう展後援
- 2) 第38回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第41回湖西発明くふう展並びに第29回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第9回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

(2) 児童・生徒におけるものづくり体験の機会創出促進業務（静岡県からの受託事業）

児童・生徒のものづくり体験の場を提供する県内少年少女発明クラブの活動を広く周知し、新たなクラブの設置を促進するため、当協会ホームページにPRページを開設し、保守管理を行った。

＜発明クラブ＞ 三島市少年少女発明クラブ、沼津市少年少女発明クラブ、静岡市少年少女発明クラブ、藤枝市少年少女発明クラブ、湖西市少年少女発明クラブ

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から受託した産業財産権に関する事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

(1) 知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2 名（非常勤）

項 目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (5年度)
訪問企業件数	500	577	116	107	541
来訪指導件数	40	37	93	98	38
マッチング件数	85	73	86	97	76
成約件数	20	12	60	100	12
事業化件数	7	3	43	300	1
講習／講演	70	89	128	105	85

(2) 知財総合支援窓口運營業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの受託事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

① 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下「中小企業等」という。）を対象として実施した。

② 実施体制

中部（本部） 3 名（常勤 1 名、非常勤 2 名）

東部（沼津支所） 2 名（常勤 1 名、非常勤 1 名）

西部（浜松支所） 2 名（常勤 2 名）

③ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(ア) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財 OB や中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(イ) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

④ 支援実績

項 目	目標(件)	実績 (件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (5年度)
窓口相談受付件数	2,700	2,496	92.4	93.9	2,657
周知活動件数	270	440	163.0	147.2	299
農林水産・食関連産業件数	340	413	121.5	77.6	532
連携支援件数	550	557	101.3	96.5	574
新規相談件数	410	427	104.1	94.9	447
顧客満足度調査結果	90.0%	98.9%	—	—	99.5%

⑤ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、60 人で、1 か月当たり約 5 人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が 60 人中 47 人と大部分を占めており、地域別では、静岡市 26 人、焼津市 8 人、島田市 7 人、藤枝市 6 人、掛川市・牧之原市各 3 人、富士市 2 人、西伊

豆町・富士宮市・菊川市・磐田市・浜松市各 1 人となっている。

⑥連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議を、以下のとおり 2 回開催し、各機関の管理者や担当者が集まり意見交換等を実施

(ア)第 1 回：令和 6 年 6 月 12 日（水） 静岡県産業経済会館 3 階特別会議室

【会議参加機関】

関東経済産業局、静岡県、静岡県工業技術研究所、静岡県警察本部、静岡市、浜松市、沼津市、島田市産業支援センター、富士市地域産業支援センター、菊川市産業支援センター、中小企業基盤整備機構、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、静岡県中小企業団体中央会、（独）日本貿易振興機構、（公社）静岡県農業振興公社、日本弁理士会東海会、静岡県商工会連合会、静岡商工会議所、沼津商工会議所、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫静岡支店、静岡銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、浜松いわた信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、富士信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、遠州信用金庫、静岡県よろず支援拠点、（一社）静岡県発明協会、（独）工業所有権情報・研修館（INPIT）

【内容】

関東経済産業局、INPIT 及び知財総合支援窓口の紹介及び令和 6 年度の重点取組、経営課題と知財の接点等についての説明並びに各支援機関からのスタートアップに対する取組の発表により、各参加機関の連携の強化を図った。

(イ)第 2 回：令和 7 年 2 月 10 日（月） 静岡県産業経済会館 3 階第 1 会議室

【会議 参加機関】

関東経済産業局、関東農政局、静岡県、静岡県警察本部、静岡市、浜松市、日本弁理士会東海会、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、静岡県中小企業団体中央会、静岡県商工会連合会、（公社）静岡県国際経済振興会、（独）日本貿易振興機構、静岡商工会議所、静岡県よろず支援拠点、（公社）静岡県農業振興公社、（一財）アグリオープンイノベーション機構、富士伊豆農業協同組合、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫静岡支店、静岡銀行、三島信用金庫、沼津信用金庫、静岡信用金庫、島田掛川信用金庫、浜松いわた信用金庫、（一社）静岡県発明協会、（独）工業所有権情報・研修館（INPIT）

【内容】

農業分野における知的財産の重要性、海外輸出品における模倣品対策、農産物等の模倣品対策と知的財産戦略など、農業分野における知的財産をメインテーマに情報交換及び意見交換を実施し、連携の強化を図った。

⑦事業の周知、広報活動の実績

(ア)ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

(イ)事業内容リーフレット等の作成・配布

見開き A3 のリーフレットを、合計 6,000 部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

これとは別に、11,580 部の INPIT リーフレットを商工会・商工会議所から各会員企業に配布していただいた。

(ウ)アンケート調査

知財総合支援窓口の利用促進を図るため、支援機関から補助金（第 17 次及び 18 次ものづくり補助金、第 11 次及び 12 次事業再構築補助金）を受けている企業、広告配信サービス「シラレル」の実施によりホームページへアクセスしてきた企業及び過去に支援実績があるが令和 4 年度以降は実績がない企業を対象としたアンケート調査を実施した。

（アンケート送付先 東部地域 174 社、中部地域 267 社、西部地域 190 社、計 631 社）

(エ)包括連携協定

企業における知的財産の活用促進を通じた地域経済の活力創出を目指し、金融機関との包括連携協定の締結を進めている。

これまでに静岡県窓口として 6 機関（静岡県発明協会としての協定を含めると 7 機関）の金融機関と包括連携協定を締結し、協定締結金融機関とは、同機関職員や会員企業に対する知財セミナーを共催し、静岡県知財総合支援窓口の事業内容や連携事例を紹介する等、窓口の周知と相互連携の強化を図っている。

(オ)企業向け WEB 広告配信サービスの活用

WEB 広告配信プラットフォーム「シラレル」を活用し、県内中小企業の製造、技術サービス、卸・小売、宿泊、飲食、観光、農業関係企業を抽出し、各種メディアを使ってピンポイントで広告配信した。同サービスには、バナー広告をクリックした企業をリスト化することができる利点があり、リストは周知活動にも活用した。

広告配信を 2 か月間実施した結果、7,886 件のクリック（クリック率 0.41%）があり、広告がクリックされることで、ホームページへのアクセス数等の増加に大きく寄与し、認知度の向上につながった。

(カ)リスティング広告の活用

Google 検索において、「特許 手続き」や「商標 出願」等の知財関連のワードにより検索されたときに当窓口ホームページへのリンクが検索結果の上位に表示される検索ワード連動型リスティング広告を実施した。

3 か月間実施した結果、915 件のクリック（クリック率 3.67%）があり、窓口の認知度向上につながるとともに、その時に知財関連情報を必要としていた方にタイムリーに各種情報を提供できた。

(キ)YouTube 動画の活用

より多くの人に興味、関心を持ってもらうよう「INPIT 静岡県知財総合支援窓口」PR 動画のコンテンツを配信し、事業周知に努めた。

(ク)その他

- ・中小企業や中小企業支援機関等に対する周知活動を実施（440 件、内訪問によるもの 160 件）
- ・関東経済産業局、日本弁理士会東海会、金融機関等と当協会（静岡県知財総合支援窓口）との連携により開催したセミナー等において、知財総合支援窓口の活動紹介等を実施した。
- ・公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

(1)県内の特許公報等分類別動向調査

区 分（注1）	A	B	C	D	E	F	G	H	合 計
公 開 特 許 公 報	294	809	115	18	81	288	483	470	2,558
特 許 公 報	211	599	69	10	51	245	380	472	2,037
登録実用新案公報	33	12	0	0	4	3	5	5	62

公表特許公報	1	0	1	0	0	0	0	6	8
再公表特許公報(注2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	539	1,420	185	28	136	536	868	953	4,665

(注1) A＝生活必需品、B＝処理操作・運輸、C＝化学及び冶金、D＝繊維及び紙
E＝固定構造物、F＝機械工学・照明・加熱・武器・爆破、G＝物理学、H＝電気
(注2) PCT（国際特許協力条約）に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

(2) 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

(1) 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会（通称：パテント部会）」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理の実務に関するテーマを決め、講演会や勉強会を開催した。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月17日	講演会 「中小企業でもできる知財戦略検討と策定の新しい方法」 講師：知財戦略ラボラトリー 代表 小嶋 輝人 氏	22名	ペガサート
第2回	5月15日	1の島 「特許ことはじめ#1 “特許の目” の効かせ方教えます」 講師：一般社団法人静岡県発明協会 特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	5名	ペガサート
		2の島 勉強会 「職場での秘密情報管理について考えてみよう」 進行：クミアイ化学工業（株） 生田目 雅之 氏	16名	
第3回	6月19日	記念講演会 テーマ「約8割の受講生が計画性の向上を実感！」 タイムスリップマネジメント（発明・知財編）」 講師：浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 地域共創学科 准教授 坪井 秀次 氏	29名	県産業 経済会館
第4回	7月17日	講演会 「特許調査における生成AI、テキストマイニングの応用」 講師：スマートワークス（株） 代表取締役 酒井 美里 氏	41名	ペガサート
第5回	9月18日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門」 講師：INPIT静岡県知財総合支援窓口 支援担当者 小島 博美 氏	10名	ペガサート
		2の島 グループ研究会 「強い経営・次の一手 ケーススタディ」 講師：静岡製機（株） 山口 拓也 氏	15名	

第6回	10月16日	講演会 「利用しやすくなった意匠制度/日本と海外の現状から」 講師：小西・中村特許事務所 弁理士 中村 知公 氏	19名	県産業 経済会館
第7回	11月20日	視察研修 1) (株) 山崎製作所 (静岡市清水区原) 2) (株) アイエイアイ (静岡市清水区庵原町) 3) (株) 平垣製作所 (静岡市清水区土) 4) 富士錦酒造 (富士宮市上柚野)	21名	静岡市他
第8回	12月18日	講演会 「ひらめきから発明へ、発明から製品化へ ～インクジェット高精細吐出技術誕生秘話～」 講師：Kz project LLC. 代表 中島 一浩 氏	23名	ペガサート
第9回	2月19日	講演会 「特許調査・分析と生成AIの活用」 講師：(株) イーパテント e-Patent Co., Ltd 代表取締役社長 野崎 篤志 氏	32名	ペガサート
第10回	3月19日	講演会 「事業における特許の活用 ー特許支配に対する弱者の生き方ー」 講師：i. PARTNERS特許事務所 代表社員 弁理士 井上 正則 氏	28名	県産業 経済会館

(2) 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す勉強会。

本年度は、2回開催した。

第1回	9月18日	第23回「知財管理ことはじめ」 テーマ 「特許権が侵害されている!? さあ、どうする?」 講師：元旭テック (株) 特許室長 鈴木 直博 氏	7名	ペガサート
第2回	2月19日	第24回「知財管理ことはじめ」 テーマ 「社内外とのコミュニケーション」 講師：元 旭テック (株) 特許室長 鈴木 直博 氏	10名	ペガサート

(3) 知的財産権制度説明会（初心者向け）（特許庁への協力事業）

これから知的財産権を学びたい方、企業等において知財部門に新しく配属された方などの初心者を対象に、特許庁の産業財産権専門官が知的財産権制度の概要を中心に、各種支援策や地域におけるサービス等をわかりやすく説明するもの。本説明会はオンライン配信のみの開催であり、会員等への周知に協力した。

6. 会議等

(1) 会計監査 令和6年5月13日 当協会

(2) 総 会 令和6年6月19日 静岡県産業経済会館

(3) 理 事 会 令和6年5月22日 静岡県産業経済会館
令和6年6月19日 静岡県産業経済会館
令和7年3月17日 静岡県産業経済会館

(4) パテント部会幹事会

令和6年4月17日 他8回

(5) 関東地方発明表彰地方選考委員会

令和6年8月22日 アートホテル新潟駅前

(6) 関東地方発明表彰式典

令和6年11月15日 ANAクラウンプラザホテル新潟

7. 各種情報の収集及び提供事業

(1) ホームページによる情報発信

キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

(2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）

令和6年6月1日 2024 VOL. 10 No. 53

令和6年9月1日 2024 VOL. 10 No. 54

令和6年12月1日 2024 VOL. 10 No. 55

令和7年3月1日 2025 Vol. 10 No. 56

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会（静岡県地区会運営委員会）に出席した。

令和6年 4月 30日

令和6年 9月 6日

令和6年 12月 6日

令和7年 3月 14日

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,603,307	35,633,699	▲ 4,030,392
未収入金	12,125,191	11,961,260	163,931
流動資産合計	43,728,498	47,594,959	▲ 3,866,461
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	12,366,080	11,048,800	1,317,280
特定資産合計	12,366,080	11,048,800	1,317,280
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	297,000	396,000	▲ 99,000
その他固定資産合計	431,900	530,900	▲ 99,000
固定資産合計	12,797,980	11,579,700	1,218,280
資産合計	56,526,478	59,174,659	▲ 2,648,181
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,846,324	1,923,019	▲ 76,695
預り金	973,628	1,137,560	▲ 163,932
未払消費税	638,800	1,841,400	▲ 1,202,600
未払法人税等	200,000	300,000	▲ 100,000
流動負債合計	3,658,752	5,201,979	▲ 1,543,227
2. 固定負債			
退職給付引当金	12,366,080	11,048,800	1,317,280
固定負債合計	12,366,080	11,048,800	1,317,280
負債合計	16,024,832	16,250,779	▲ 225,947
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	40,501,646	42,923,880	▲ 2,422,234
負債及び正味財産合計	56,526,478	59,174,659	▲ 2,648,181

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[2,815,000]	[3,015,000]	[▲ 200,000]
法人会員受取会費	2,157,500	2,300,000	▲ 142,500
個人会員受取会費	612,500	660,000	▲ 47,500
賛助会員受取会費	45,000	55,000	▲ 10,000
② 事業収益	[55,522,578]	[54,471,377]	[1,051,201]
発明奨励事業収益	400,000	350,000	50,000
情報サービス複写事業収益	83,544	83,799	▲ 255
情報サービス刊行物事業収益	60,408	55,982	4,426
都道府県受託事業収益	11,290,841	11,290,719	122
情報・研修館受託事業収益	43,687,785	42,690,877	996,908
③ 補助金	[0]	[500,000]	[▲ 500,000]
都道府県補助金	0	500,000	▲ 500,000
④ 受取発明奨励等	[50,000]	[700,000]	[▲ 650,000]
受取表彰発明奨励等	50,000	700,000	▲ 650,000
⑤ 雑収益	[482,019]	[226,678]	[255,341]
受取利息	18,062	552	17,510
雑収益	463,957	226,126	237,831
経常収益計	58,869,597	58,913,055	▲ 43,458
(2) 経常費用			
① 事業費	[55,287,958]	[54,811,498]	[476,460]
発明奨励発明展事業費	1,399,865	1,383,393	16,472
発明奨励表彰式事業費	1,422,476	2,633,811	▲ 1,211,335
発明普及会員管理費	33,766	63,791	▲ 30,025
特許制度普及事業費	1,179,457	1,012,614	166,843
特許情報発信事業費(複写事業)	9,428	11,516	▲ 2,088
特許情報発信事業費(刊行物事業)	37,594	46,702	▲ 9,108
都道府県受託事業費	11,290,841	11,290,719	122
情報・研修館受託事業費	39,914,531	38,368,952	1,545,579
特許庁請負事業費	0	0	0
② 人件費	[3,819,819]	[3,663,872]	[155,947]
給料手当	1,826,217	1,656,314	169,903
法定福利費	653,211	636,570	16,641
退職給付費用	1,317,280	1,303,360	13,920
福利厚生費	23,111	67,628	▲ 44,517
③ 事務費	[2,011,954]	[1,822,313]	[189,641]
水道光熱費	294,029	240,137	53,892
通信費	197,052	207,768	▲ 10,716
賃借料	255,145	293,700	▲ 38,555
旅費交通費	24,690	1,660	23,030
消耗品費	146,768	59,329	87,439
会議費	164,992	134,554	30,438
支払手数料	513,900	436,612	77,288
諸会費	52,500	52,500	0
租税公課	61,698	136,293	▲ 74,595
保守料	160,600	160,600	0
広告宣伝費	0	0	0
雑費	41,580	0	41,580
ソフトウェア償却費	99,000	99,000	0
図書費	0	160	▲ 160
経常費用計	61,119,731	60,297,683	822,048
当期経常増減額	▲ 2,250,134	▲ 1,384,628	▲ 865,506

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 2,250,134	▲ 1,384,628	▲ 865,506
法人税、住民税及び事業税	172,100	262,500	▲ 90,400
当期一般正味財産増減額	▲ 2,422,234	▲ 1,647,128	▲ 775,106
一般正味財産期首残高	42,923,880	44,571,008	▲ 1,647,128
一般正味財産期末残高	40,501,646	42,923,880	▲ 2,422,234
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	40,501,646	42,923,880	▲ 2,422,234

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
なお、未償却の適用時差異残高は、664千円（残存償却数1年）であります。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	11,048,800	1,317,280	0	12,366,080
合 計	11,048,800	1,317,280	0	12,366,080

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
特定資産				
退職給付引当資産	12,366,080	（ — ）	（ — ）	（ 12,366,080 ）
合 計	12,366,080	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 12,366,080 ）

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	396,000	99,000	297,000
合 計	396,000	99,000	297,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 3 において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	11,048,800	1,317,280	0	0	12,366,080

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	30,629,679 973,628
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店		
	未収金	静岡県 情報・研修館受託事業	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務	1,290,841 10,834,350
流動資産合計				43,728,498
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	12,366,080
		静岡銀行 本店		
	その他固定資産	敷金	東部(沼津支所)	沼津支所賃貸敷金
	ソフトウェア	満喜(株)	会計ソフト	297,000
固定資産合計				12,797,980
資産合計				56,526,478
(流動負債)	未払金	補助員	知財総合支援窓口運営業務人件費	114,530
		相談担当者	知財総合支援窓口運営業務人件費	919,800
		流通AD	知的財産活用促進事業人件費	704,000
		NTT-ME	2月～3月分プロバイダ料金等	4,730
		NTTファイナンス(株)	3月インターネット回線使用料等	7,942
		キャンノマーケティングジャパン(株)	コピー料金等	5,784
		登崎哲也	発明クラブwebページ管理費	6,600
		ケイティケイ株式会社	消耗品	49,706
		サイバーパテント	3月分使用料	28,875
		ラクスル(株)	窓口担当者名刺印刷代	3,048
		(株)TOKAI	3月分プロバイダ料金	1,309
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	973,628	
未払消費税	静岡税務署	6年度消費税	638,800	
未払法人税等	静岡税務署	6年度法人税	200,000	
流動負債合計				3,658,752
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	12,366,080
		静岡銀行 本店		
固定負債合計				12,366,080
負債合計				16,024,832
正味財産				40,501,646

監 査 報 告 書

令和6年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和7年5月12日

監 事 石垣 明彦



監 事 滝川 一儀

